

私立学校における学校再開の状況等について

1 学校再開の状況

(高等学校(全日制) 15校、中学校9校、小学校2校)

【単位：校数】

区 分	時 期	高等学校	中学校	小学校	合 計
登校日	5 / 25 ~	12	6	2	20
	未実施	3	3	0	6
学校再開 (分散登校)	6 / 1 ~	15	8	2	25
	6 / 4 ~	0	1	0	1
一斉登校	6 / 8 ~	2	2	1	5
	6 / 9 ~	0	1	0	1
	6 / 15 ~	13	6	1	20
給食の実施予定	5 / 25 ~	0	1	1	2
	6 / 1 ~	0	0	1	1
	6 / 4 ~	0	1	0	1
	6 / 8 ~	1	0	0	1
	6 / 15 ~	1	1	0	2
	給食無し	13	6	0	19
夏季休業	7日間~	7	6	1	14
	14日間~	5	3	1	9
	21日間~	3	0	0	3
冬季休業	7日間~	10	7	1	18
	14日間~	4	2	1	7
	検討中	1	0	0	1
土曜授業	無	4	2	1	7
	有	11	7	1	19
	検討中	0	0	0	0
卒業式延期	無	9	6	2	17
	有	0	1	0	1
	検討中	6	2	0	8

2 学校特性に応じた感染症防止対策上の課題

- ・スクールバス(19校が運行)や寄宿舎(11校が設置)での3密回避対策

オンライン授業（学習支援）の現状と課題

■ オンライン授業の実施状況

実施学校数	高等学校(全日制)	中学校	小学校
	12校/15校	6校/9校	1校/2校

■ 児童生徒用端末の配備状況

区分	高等学校(全日制)	中学校	小学校
全員に配備済み	0校	0校	0校
一部のみ	6校	5校	2校
未配備	9校	4校	0校

※私立学校全体の配備率 2,648人/13,064人 (20.3%)

■ 現在の取組状況（オンライン授業実施19校）

参加率	ほぼ100%	90%以上	自由参加
	12校	5校	2校
1コマあたりの授業時間	50分以上	30分～50分未満	15分～30分未満
	3校	13校	3校
1日コマ数 (1学年分)	11コマ以上	6コマ～10コマ	5コマまで
	3校	12校	4校

■ オンライン授業（学習支援）のメリットや活用法

- ◆ すべての授業を双方向のオンラインで行い、宿題などの提出も実施できた。
- ◆ 動画視聴や学校から配信する課題に取り組んだりすることで授業の補足を行っている。
- ◆ 教員からの一方通行的な講義型授業から、教員と生徒、あるいは生徒同士など双方向性のある学習を推進できている。
- ◆ オンライン授業ばかりでなく、授業支援アプリなどの様々なツールを活用することによって、生徒と授業者が「つながる」学習支援が可能となっている。
- ◆ 生徒の情報交流が円滑にできるようになった。
- ◆ 家庭学習の際に各教科等の質問にいつでも回答できる。また、Web上での質問を受けることができるので、対面授業よりも生徒にとって質問しやすくなった面もある。
- ◆ 全体への連絡はもちろん、個への対応も可能となった。

■ 現在のオンライン授業に関する主な意見や改善すべき点

<生徒・保護者>

- **授業** コマ数を増やしてほしい。授業時間が短い。教科が少ない。学力の定着度を知るためにもテストを実施してほしい。
- **環境** 端末や通信環境によって速度制限が掛かる。I C T機器の扱いに不慣れなため、詳しく教えてほしい。

<教員>

- **授業** テストをするまで定着率を測ることができない。双方向だが画面越しなので生徒の表情が読み取りづらい。
- **環境** 接続準備の煩雑さや無線LANの接続環境に左右される。

■ オンライン授業を学校での対面授業と同等にするために必要なこと

ネットワーク環境（WEB会議システム）の増強	14校
全生徒へのタブレット等端末の貸与	16校
授業支援ソフト（出席確認・質問回答・添削指導等）の導入	3校

※複数回答

<主な意見や課題>

- **環境** カメラ・マイク等を含む教員用端末の不足。生徒のインターネット環境・端末所持率が100%ではなく、全員同じタブレット、同じプラットフォームでの実施が望ましい。一部の家庭にインターネット環境がなく、生徒全員の同等の教育不可。
- **研修** 教員によってスキルに格差があるため、教員全体のスキルの底上げが必要。

必要な対策

- (1) 校内ネットワークの整備
 - ・校内LAN環境（システム構築、サーバー等）の整備
- (2) オンライン授業体制の充実強化
 - ・**学校** オンライン授業用ソフトウェア、モニター、カメラ等の導入
 - ・**生徒** タブレット端末、Wifi環境の整備
- (3) 人づくり
 - ・教員のスキル向上のための研修機会の確保
 - ・専門家によるコンサルティングの導入